

黒岩探訪

たんぼう

18

KUROIWA
くろいわ

佐藤茂助翁と二宮金次郎像



佐藤茂助翁の胸像



学校の二宮金次郎像

1月中旬、上黒岩出身の本多様が本校の二宮金次郎像について訪ねてこられました。ご用は、①この像が旧小学校地（現公民館）の像をそのまま移したものでどうか、②小学校西隣の大日公園に胸像が建つ佐藤茂

助翁と関係があるかということでした。

本多様は、南牧村磐戸の柵（クヌギ）地区の柵石を扱う青木石材さんよりお話を聞いてきており、分かることがあれば確認したいとのことでした。

ここに、一緒に調べてみて分かったことを報告します。

一 二宮金次郎像には、「皇紀二千六百年記念 寄贈 佐藤茂助」とあり、昭和十五年に佐藤翁より寄贈されていること。

二 二宮金次郎像及び台座の石は、柵石でできていること

三 大日公園の佐藤翁の胸像には左図のような碑文が刻まれており、佐藤翁は明治時代に石材業で活躍し、都内の大きな建築に関わっていること。（読みやすいように現代文に直したものをウェブ版に載せてあります。）

佐藤茂助翁は明治十一年四月群馬縣北甘楽郡黒岩村に生れ同三十二年志を立て石材工業界に入り斯業に指導開発に一身を投じ或は機械的操此工夫に或は優良職工を養成翁獨特の創造力を義侠心とを發揮せるのみならず更に建築用材をして現今帝都に重宝せざるのみならず更に山谷を跋渉して苦心踏査の結果發見せられぬもの枚挙に遑珂らず
東宮御所横濱関帝室博物館大蔵省新廳舎等多数模範的の石造建築物にして翁の關係して心血注げるも此勲勞から茲に翁の還暦茲迎ふる仁方り親友知己並その薫陶を受けたる者相圖り壽像を建設して以て謝恩の意を表するものなり
昭和十三年四月建之 縣會議員 田村靜明 書之

四 大日公園入口の門柱石は、柵石

でできており次のように刻まれている。入口から見て右柱の表「黒岩山」裏「昭和十三年四月吉日」左柱の表「大日公園」裏「佐藤茂助翁壽像建設記念」（紀は糸偏）

五 門柱石も柵石でできていること。また、後日下黒岩にお住まいで学校にツルウメモドキを届けていた齋藤様が来校した折、お話を伺いました。すると、お子様が移築したての新校舎に昭和56年春入学した時、旧校地にあつた二宮金次郎像が現在位置に移されており、記念写真を撮ったということでした。

これで見つけたというものでした。つきり解決しました。今回の記事は、本校卒業生の方々に世話になりました。教えていただいたことを、児童の生活科や社会科の学習に生かしたいと思えます。

学校の二宮金次郎像は、佐藤茂助様が昭和15年に寄贈してくれたもので、その方の像が大日公園にある。

佐藤茂助様について、もう少しご紹介の方がいらつしやいましたら教えていただけるとありがたいです。また、ここに掲載できなかった写真をウェブ版に載せてありますのでご覧ください。「黒岩探訪」の検索でも関連ページが表示されると思います。